

そ	一	の	の		校	た		を	越	大	の		が	で	馬							ロ
の	冊	作	建	西	の	一	一	支	え	西	後	白	、	送	車							ー
後	と	品	国	部	教	九	九	え	て	部	半	人	、	り	の							ラ
、	し	を	精	開	材	三	二	た	読	に	に	に	大	ま	中							に
七	て	、	神	拓	に	年	年	一	み	生	生	よ	草	し	で							学
十	、	日	と	史	す	、	、	家	継	き	ま	る	原	た	育							ぶ
年	マ	本	、	の	る	ロ	、	族	が	た	れ	西	の	。そ	つ							一
代	ッ	に	民	一	た	ー	ラ	の	れ	ロ	、	部	小	の	た							小
に	カ	民	主	翼	め	は	が	愛	る	ー	開	の	さ	日	ロ							さ
な	丨	主	的	を	持	、	六	一	の	ラ	拓	開	な	々	丨	な						な
っ	サ	化	な	担	ち	戦	十	が	は	の	者	拓	家	を	が	が						家
て	丨	を	生	い	込	後	四	語	、	物	の	が	一	綴	始	ら						の
翻	が	推	活	、	ま	、	歳	ら	厳	語	両	始	の	っ	ま	れ						物
訳	選	進	信	一	ま	G	で	る	し	が	親	っ	作	た	っ	ま						語
さ	ん	さ	条	自	し	H	書	か	い	、	と	た	品	自	た	十						一
れ	だ	せ	を	由	た	Q	き	ら	開	時	後	十	群	伝	九	世						澤
た	の	る	伝	と	。°	に	始	で	拓	と	に	九	で	的	世	紀						隆
美	で	教	え	独		よ	め	す	の	夫	と	世	す	物	紀							子
し	°	本	る	立		り	学	°	々	を		紀	°	語	部							

な	そ	ケ	拓	拓	現	ち		膨		る	草		い	ロ	で		ビ	品	い
る	ぎ	ー	者	者	、	て	し	ら	美	家	原	様	る	ー	遊	ペ	番	を	装
自	奪	ン	の	の	先	い	か	ま	し	族	を	々	よ	ラ	ピ	組	ベ	丁	
然	い	、	土	歴	住	ま	し	せ	い	の	移	な	う	を	ン	で	ー	の	
の	取	猛	地	史	民	し	、	、	大	存	り	困	な	、	日	ロ	ス	「	
猛	る	吹	を	が	イン	た	そ	子	草	在	住	難	臨	一	々	ー	に	大	
威	バ	雪	巡	生	ン	。バ	の	供	原	は	む	に	場	家	、	「	「	草	
に	ッ	、	る	む	デ	ア	大	た	の	一	開	果	感	の	大	家	族	原	
翻	タ	干	熾	悲	イ	フ	草	ち	四	番	拓	敢	を	そ	の	愛	シ		
弄	の	ば	烈	劇	ア	ア	原	に	季	大	者	に	持	柱	ロ	「	リ		
さ	大	つ	な	、	ン	ア	は	と	は	事	に	つ	文	と	ー	を	「		
れ	群	、	争	そ	の	ロ	、	っ	心	な	と	文	章	な	ラ	テ	ズ		
る	の	漸	い	し	土	ー	常	て	を	も	っ	も	魅	っ	、	「	そ		
と	襲	く	。日	、	地	や	に	は	潤	の	て	も	力	成	プ	「	し		
こ	来	の	照	ひ	を	コ	命	絶	し	で	、	魅	で	長	ラ	マ	て		
ろ	な	実	り	し	奪	ヨ	の	好	、	し	愛	す	未	し	ム	に	、		
	の	を	や	め	う	ー	危	の	そ	た	結	開	開	て	ク	し	こ		
	度	根	ハ	く	白	テ	険	遊	の	。	ば	の	。	い	リ	た	の		
	重	こ	リ	開	人	の	に	び	夢		れ	大		て	ー	テ	作		

妻	さ	ン		あ		リ	か	ロ	や	っ	気		成	信		そ	と		
や	ず	を	一	り	こ	ー	っ	ー	や	た	質	そ	功	じ	敬	の	勇	と	ロ
子	、	弾	日	、	こ	ズ	た	ラ	放	た	を	ん	の	る	虔	前	気	う	ー
供	日	き	の	こ	に	ー	ら	を	浪	ー	し	な	ぶ	心	な	う	と	さ	ラ
た	曜	、	終	の	描	は	、	育	癖	ラ	っ	と	れ	が	ク	さん	明	ん	は
ち	は	そ	わり	本	か	誕	今	て	も	で	か	う	と	、	リ	を	る	は	そ
を	教	れ	に	を	れ	生	も	た	持	し	り	さん	謙	苦	ス	支	さ	ユ	れ
大	会	を	、	私	る	し	世	の	つ	た	受	を	虚	難	チ	え	を	ー	を
き	に	楽	必	が	一	な	界	で	と	。こ	け	理	に	は	ヤ	る	持	モ	目
な	通	し	ず	愛	家	か	中	。こ	う	この	継	解	前	神	ン	のは	った	ア	の
愛	い	む	と	読	族	つ	で	この	さん	う	いだ	し	向	様	で	は	全	と	当
と	、	家	う	す	愛	た	読	の	の	さ	の	、	き	の	あ	信	人	楽	た
勇	安	族	さん	一	一	思	ま	と	西	ん	は	そ	に	な	る	仰	的	天	り
気	息	。お	は	番	最	う	れ	う	へ	を	、	の	捉	さ	試	と	開	性	に
で	日	祈	は	の	大	の	一	さ	の	見	大	と	え	る	練	家	拓	に	見
包	を	り	バ	理	の	で	大	ん	の	て	草	う	ま	試	で	族	者	加	て
み	守	を	イ	由	魅	す	草	が	憧	育	原	さ	す	練	、	で	で	え	き
こ	る	欠	オ	で	力	。こ	原	い	れ	ち	が	ん	。こ	で	神	す	す	、	ま
み	一	か	リ	す	で		シ	な	、	ち	、	の		あ	様	す	機	し	た
	家													り	を			知	た

力	不	神		き	と	の		鑑	を		優		守	で	た	性		娘	守
と	平	が	し	ま	き	長	十	で	心	恵	し	自	ら	、	人	で	か	達	る
な	も	善	か	す	、	女	三	す	豊	み	い	立	れ	か	で	、	あ	を	の
っ	言	で	し	°	か	メ	歳	°	か	に	娘	、	、	あ	し	東	ん	育	は
て	わ	あ	、	一	あ	ア	で	真	に	感	に	も	生	さ	た	部	は	て	と
、	ず	る	心	家	さん	リ	、	の	育	謝	と	の	き	ん	°	の	忍	見	う
母	、	こ	豊	の	は	丨	美	豊	て	し	か	を	ら	の	生	気	耐	守	さ
の	自	と	か	最	初	が	し	か	る	、	あ	大	れ	活	品	強	っ	ん	で
そ	分	を	に	大	め	猩	く	さ	働	最	さん	切	た	そ	と	く	た	で	す
ば	の	知	育	の	て	紅	聡	を	き	大	は	に	の	の	西	、	の	が	、
で	居	っ	て	悲	神	熱	明	考	者	限	厳	し	で	も	部	、	は	、	そ
生	場	て	ら	劇	様	の	な	え	の	の	し	°	、	の	の	強	あ	そ	の
涯	所	い	れ	で	に	後	、	さ	か	知	く	人	を	が	逞	い	さ	の	夫
を	を	ま	た	し	疑	遺	誰	せ	あ	恵	騃	を	を	闘	の	強	さん	の	夢
送	持	した	メ	た	念	症	より	ま	さん	と	ま	思	い	い	を	い	で	す	を
っ	ち	°	ア	°	を	で	も	°	は	工	す	い	や	だ	兼	、	°	°	支
た	、	一	丨		持	失	母		、	夫	°	や	る	っ	ね	気			え
の	家	言	は		ち	明	親		私	で		る	、	た	備	丈			え
で	族	の	、		嘆	し	似		の	家				西	え	な			え
す	の					た				族				部		女			

夏には、ローラーの住んだ街々ではローラーの	生きられる。ローラーはそう語りかけています	ち、自然の暮らしをするとき、人は幸福に	をもち、愛を育み、義務を果たし、休息を持つ	もの感謝し、それを最大限に工夫する知恵	生きることにはシンプルで良い。与えられる	引き起こす深刻さにも繋がって、社会問題を	もりを共有する時間を奪って、社会問題を	とで多忙になり、家族が語り、楽しさや温	的な豊かさや便利さを優先する生活を選ぶこ	文明や科学の発展した現在の社会は、物質	活に警鐘を鳴らし、いるように思えます。	ローラーの生き方、考え方は今の私たちの生	の願いで、サウスダコタで終わりました。	バーウオークと移り住んだ生活は、かあさん	デンス、ミネソタのウォールナッツグロブ、	ペピンの大きな森から出発し、インデペン	娘に成長し、結婚して、更に西に旅立ちます	なっ、て一家を支えたローラーは、美しく逞しい	姉の目となり、母親の片腕になり、教師と
-----------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	------------------------	---------------------

。

。

																		シ	（	た	こ	野
																		リ	）	。	の	外
																		ー		今	本	劇
																		ズ		は	は	が
																			、	私	行	わ
																			孫	に	わ	れ
																			娘	と	れ	、
																			の	っ	、	今
																			そ	て	も	ロ
																			ば	子	も	ー
																			で	育	ロ	ラ
																			読	て	ー	に
																			み	の	ラ	に
																			直	大	切	学
																			し	切	ん	で
																			て	な	で	い
																			い	一	い	ま
																			ま	冊	ま	す
																			す	で	ま	す
																			。	し	す	